

高畠高生の活躍

2月8日から始める「まほろば冬咲きぼたんまつり」を控え、本校生徒が東北芸術工科大学の学生と造花の飾り付けに取り組んだ様子が山形新聞に掲載されました。

1年生の堀越蓮くんのコメントが紹介されています。

若者のアイデア 飾り付けに反映

高畠・ぼたんまつり控え
高畠町の恒例イベント
「まほろば冬咲きぼたんまつり」(8～11日)を控え、メイン会場の町太陽館前広場で3日、高畠高生と東北芸術工科大学の計約20人が準備作業に励んだ。

10年ほど前から地元高校生有志が準備に協力し、同大の学生も演出に携わるなど若い力を得て、冬の高畠

「まほろば冬咲きぼたんまつり」に向け、造花を使った飾り付けを進める高畠高生ら

＝高畠町



を盛り上げている。今回は高校生のアイデアで牛乳パックを使ったランタン

ん(16)は「みんなで頑張って作っているので、本番は多くの人に見てほしい」とアピールした。ほかに和傘と造花のボタンを組み合わせた飾り付けなども進めた。

広場には、わらで編んだ「こも」を30以上置き、その中に大輪の鉢物を飾る。夜はそれぞれを優しい光で照らす。太陽館に加え、よねおりかんこうセンター、高畠ワイナリー、道の駅たかはたでも展示する。

(佐々木亨)

令和7年2月5日(水)「山形新聞」から